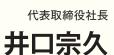
2018.08.01 Kyoni Communication Paper

プロフェッショナル購買&生産技術パートナー



光あるところに 影あり





皆様、大変ご無沙汰しております。

今年は非常に暑い日が続きますが、いかがお過 ごしでしょうか。

さて、弊社では本年10月1日に設立70周年を 迎えることができますが、長年にわたり当社の活 動を支えてくれた関係の皆様に深く感謝を申し上 げます。

節目を迎えるにあたっての当社の概況ですが、 既存のお客様の生産が概ね好調であること、そし て非常に活発な設備投資を取り込むことができた ことで、何とか前年を上回る業績で10月を迎え られそうです。

また、8月末には本社新社屋が完成いたしますし、 別途正式にご案内いたしますが、名阪地域への新 たな営業拠点の設立準備も進んでおり、私自身も 京二全体もつい浮かれそうになります。

しかし、「光あるところに影あり」。

私が尊敬し師事する方から口を酸っぱくして言 われている言葉であり、つい先日もお会いした際 に同じことを忠告されました。なぜ光がさしているのか、いつまで光がさすのか、影の部分は何なのかを良く考えなければなりません。

例えば工作機械業界で言えば前年は過去最高の 出荷額となり、今年は更に更新するのではと言わ れています。それをけん引する半導体業界の好況 はいつまで継続するのか、米中貿易摩擦の影響は どうなるのか、国内人口がゆるやかに減少し自動 車の販売台数も一進一退で推移する中で現在のよ うな設備投資はどれだけ継続するのか……。

業界全体で光がさしている状況ですが、やはり 影の部分をきちんと考え、景気に大きく左右され ない企業体質を築き上げなければと考えておりま す。

そのような中で2点ほどの取組みのトピックス をお伝えいたします。

① ロボットへの取組

まず、半年以上も前になってしまいますが、東



京ビッグサイトで開催されたロボットや自動化技 術の展示会「ロボデックス」に初出展いたしまし た。当社はメーカーでも SIer でもありませんが、「自 動化のコーディネーターとして、初めてロボット を検討するお客様へ導入支援をする」というコン セプトがご来場者にささり、たくさんのご相談を いただくことができました。すぐに受注になるわ けではありませんが、継続してロボットの導入に 向けてお手伝いをさせていただきます。

また7月には新たに発足したFA・ロボットシ ステムインテグレータ協会にも会員企業として加 入いたしました。ロボット、自動化の導入の重要 な担い手であるSIerさんとの連携を強化し、よ り良い形でのお客様へのご提案、導入へ繋げてい きたいと考えております。

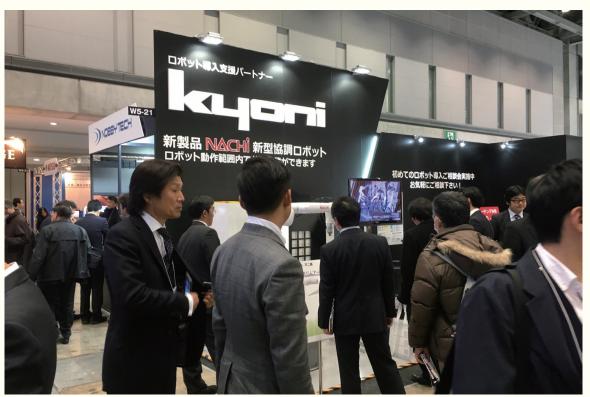
② 中国製品展開

従来から取り組んでいる超硬工具、PCD・

CBN工具関連は順調に二桁成長ができておりま すが、新たな取り組みとしてロストワックス製品 の輸入販売に力を入れております。

6月に開催された機械要素技術展にも出展いた しましたが、不安定な生産や品質問題をかかえる 現行メーカーからの切替、コストダウンのために 他の鋳造方法からの切替などのお引合いをいただ くことができました。また中国現地にも品管に関 わる強力なコーディネータを提携することができ、 今後の展開に手応えを感じてはじめております。 本誌別項にもメーカー紹介のページがありますの で、是非ご覧いただけますでしょうか。

どこまで行っても光のあとに必ず影は追いかけ てくるものですが、それでも冷静に状況をとらえ ること、新しい取り組みをきちんと進めることを 続けてまいります。



ロボデックス京二ブース